

2022年9月6日

2022年度（令和4年度）第2回定時理事会 資料

アジアトライアスロン U23・ジュニア選手権 提案概要

(2023.6.24 | 日本・蒲郡)

蒲郡市に招致する意義

JTUは、これまで数多くの大会を共に成功に導いてきた蒲郡を**日本トライアスロン界にとって非常に重要な場所**と考えています。

1980年代からトライアスロン大会を開催してきた実績に基づく運営能力とホスピタリティの高さは、他の都市が容易に真似ることはできません。

また、アジア各国の中央競技団体からトップが集まるこの機会を、**蒲郡のシティプロモーションにも活用いただきたい**と考えています。

【蒲郡市でアジア選手権を開催するメリット】

- 日本からアジア/世界へ「GAMAGORI」を発信
- 31の国と地域のアスリート（予定）と、蒲郡の子供たちとの交流機会の創出
- 市民の健康を支援する、トライアスロンによる行動変容機会の創出
- 愛知・名古屋アジア競技大会との連携(行政支援スタイルのアピール)
- DXを駆使した大会映像の発信により、イメージ向上の機会を創出
- 東海・三河・三遠地域のパートナー企業開拓による、新たな経済圏に繋がる機会を創出
- 毎年6月のトライアスロン競技定着とトップ選手との交流により、若年層の競技力向上、安定したエリート選手の輩出につながる
- トライアスロンによるまちづくり構想の再スタート 等



アジアU23・ジュニア選手権の位置づけ



U23アジア選手権は、アジア地域のトライアスロン競技の普及に繋がる、**次世代選手たちのレビューの場**になります。

すなわち、この大会の勝者や高いパフォーマンスを発揮した選手たちが、2024パリオリンピック、2028ロスオリンピック、2032ゴールドコーストオリンピックの各国代表選手となり、活躍が期待されます。併催の混合リレーもオリンピック種目として採用されています。

選手たちは、2026愛知・名古屋アジア競技大会にも参加して来ます。2023年度は、この後に行われる世界トライアスロン選手権への各国代表選考大会を兼ねる国が多いと考えられます。

またアジア各国は、トライアスロン発展途上国がほとんどですが、今後のトライアスロン発展可能性は、5大陸でNO.1と評価されています。

斯様な状況の中で本大会は、アジアのみならず、世界へのライブ配信が予定されており、本大会の注目度は非常に高いものとなることが想定されます。

同時に開催されるアジアトライアスロン総会では、4年に1回のアジアの役員を決める選挙が予定されています。スポーツ庁なども日本人の役員獲得などを強く支援しており、国内外のメディアからも注目される会議となります。（総会では、蒲郡市長による基調挨拶を予定しています）

大会概要（案） =団体企業名は予定並びに交渉中=

大会名称	2023U23・ジュニアアジアトライアスロン選手権蒲郡大会 2023アジアトライアスロン総会 2023蒲郡オレンジトライアスロン(エイジグループナショナルチャンピオンシップシリーズ第9戦)
主催	アジアトライアスロン（AST）/2023U23・ジュニアアジアトライアスロン選手権蒲郡大会組織委員会 （構成団体：蒲郡市/蒲郡市教育委員会/蒲郡市スポーツ協会/公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）/一般社団法人愛知県トライアスロン協会（ATA）ほか）
共催	愛知県/愛知県教育委員会/中日新聞社
公認	ワールドトライアスロン（TRI）/アジアトライアスロン（AST）
競技主管	一般社団法人愛知県トライアスロン協会（ATA）
後援	外務省、スポーツ庁、公益社団法人日本スポーツ協会、公益社団法人日本オリンピック委員会、 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構、 一般財団法人日本モーターボート競走会 蒲郡事業所、他
支援	愛知県警察本部、蒲郡警察署、陸上自衛隊第10師団
連携協力	公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会
公式日程	2023年6月23日（金）～6月25日（日）
協力	愛知県三河港務所、蒲郡市消防本部、蒲郡市民病院、蒲郡市スポーツ推進委員会、 蒲郡市商工会議所、蒲郡市競艇事業部、蒲郡市民病院、日本赤十字社愛知県支部、 公益財団法人愛知県スポーツ協会、蒲郡観光協会、竹島漁協、沿線商店街組合、 三谷温泉観光協会、西浦温泉観光協会、愛知ライフセービングクラブ、 公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU） 東海ブロック協議会、他
助成	独立行政法人日本スポーツ振興センター
特別協賛	NTT西日本/大和ハウス工業
協賛	セガサミーグループ、ローソン、アシックス、JAL、三井住友海上火災保険、味の素、セレスポ、 サンフロンティア不動産、博慈会、シマノセールス、東レ・アムテックス、JTB、日本旅行、H.I.S.、 プリチストン、スポーツクラブNAS、HUUB、TYR、2XU、フォトクワイエット、OAKLEY、エアウィーヴ、 仙台銘板、ワイ・インターナショナル、蒲郡信用金庫、ホテル蒲郡 等
参加予定国数	31の国と地域からを予定
放映予定	YouTubeにて日本語版/Triathlon Liveにて英語版の放送を予定



組織委員会役員（案）

大会名誉会長	愛知県知事 大村秀章
大会会長	蒲郡市長 鈴木 寿明
大会副会長	（公社）日本トライアスロン連合 会長 岩城 光英、（一社）愛知県トライアスロン協会 会長 國分 孝雄
顧問	愛知県議会議員 飛田 常年、蒲郡市議会議員 稲吉 郭哲、愛知県教育委員会 教育長 飯田 靖、蒲郡市副市長 大原義文、蒲郡市教育長 壁谷 幹朗、衆議院議員（愛知14区）今枝 宗一郎、参議院議員 酒井 庸行、蒲郡市スポーツ協会会長 吉見 千津子、蒲郡市商工会議所会長 竹内 則裕、愛知県三河港務所 蒲郡出張所長 中村 裕司、蒲郡市民病院長 河邊 義和、（公社）日本トライアスロン連合 副会長 仲井 公哉、（公社）日本トライアスロン連合 副会長 飯島 健二郎
参与	NTT西日本 代表取締役社長 森林 正彰、大和ハウス工業 代表取締役社長 芳井 敬一
実行委員長	（公社）日本トライアスロン連合 常務理事（東海ブロック）鈴木 貴里代
副委員長	（一社）愛知県トライアスロン協会 理事長 牛島 章博
委員	蒲郡市、蒲郡市スポーツ協会、（一社）愛知県トライアスロン協会、（公社）日本トライアスロン連合、各団体・協力企業から若干名
監事	蒲郡市、（公社）日本トライアスロン連合 から1名ずつ

競技概要（案）

公式日程	2023年6月23日（金）から 6月25日（日）
競技内容	U23男女：スイム1.5Km、バイク40Kmラン、10Km＝51.5Km（オリンピック競技距離） ジュニア男女：スイム0.75Km、バイク20Km、ラン 5 Km＝25.75Km（スプリント競技距離） U23ジュニア男女混合リレー：調整中 エイジ男女：スイム1.5Km、バイク40Km、ラン10Km＝51.5Km（オリンピック競技距離）
参加選手	U23 参加国ごと：男子6名以内、女子6名以内 ジュニア 参加国ごと：男子6名以内、女子6名以内 エイジ 5歳刻年齢男女：約1,000名
競技会場	愛知県蒲郡市（浜町・竹島・市民会館周辺）

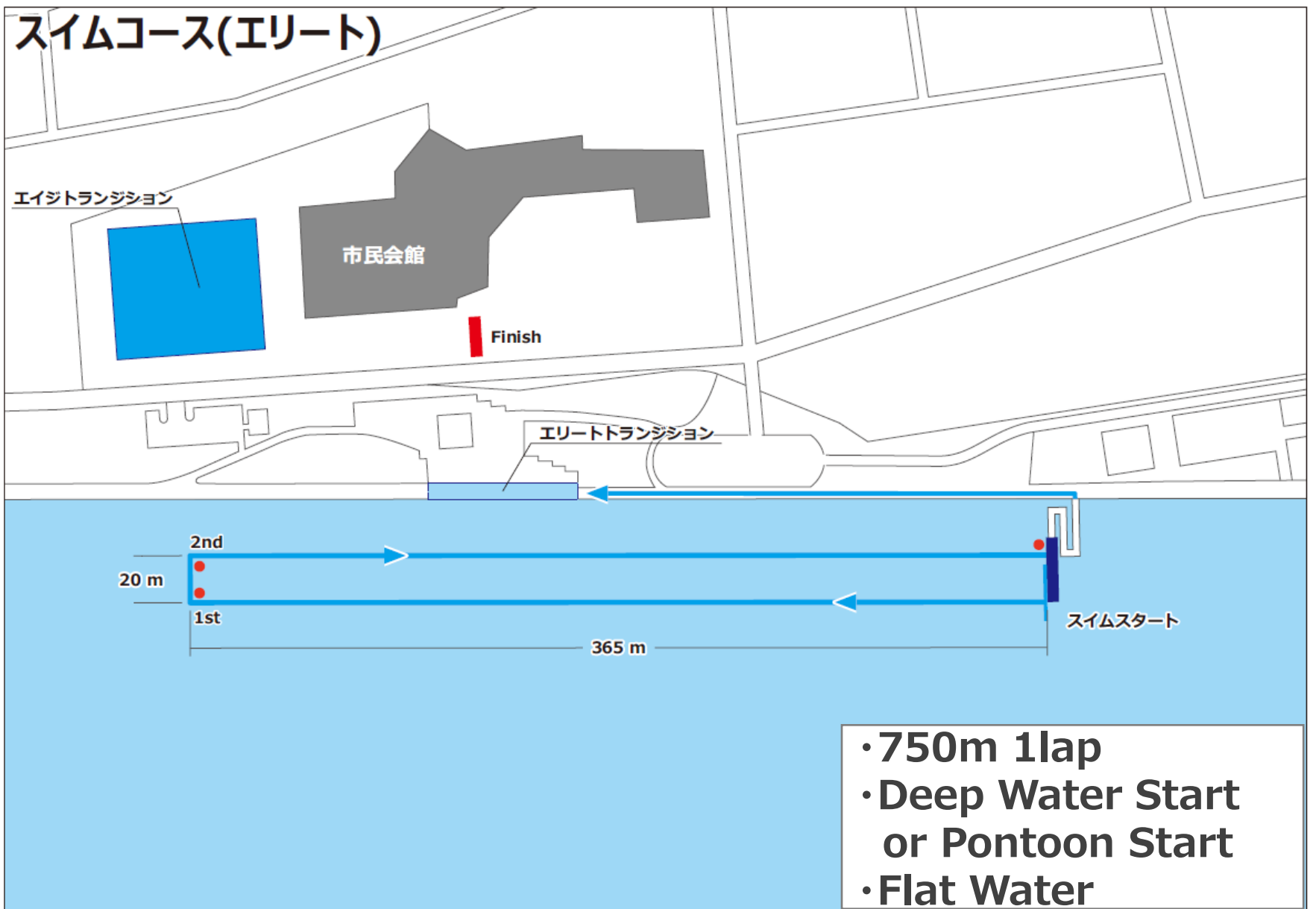


レースウィーク・イベントスケジュール（案）

日付	時間	プログラム
6月23日（金）		インターネット中継開始
	6:30-	コース試走、試泳（別途、スイム練習会場を設定）
	13:15-14:30	記者発表会
	14:15-15:00	選手受付
	15:00-15:45	競技説明会
		アジアトライアスロン専門委員会
		テクニカルオフィシャルセミナー、コーチングセミナー
		チャリティイベント、地元の子どもたちとの交流イベント
		ウーマンズブレックファストミーティング
6月24日（土）		アジアトライアスロン理事会、総会
	9:00-	ジュニア男子
	10:00-	ジュニア女子
	11:00-	U23男子
	12:00-	U23女子
		メダルセレモニー
6月25日（日）		ドーピング検査
	7:30-	U23・ジュニア 男女混合リレー *リレー開催に関しては日程調整要
	8:30-	エイジグループ

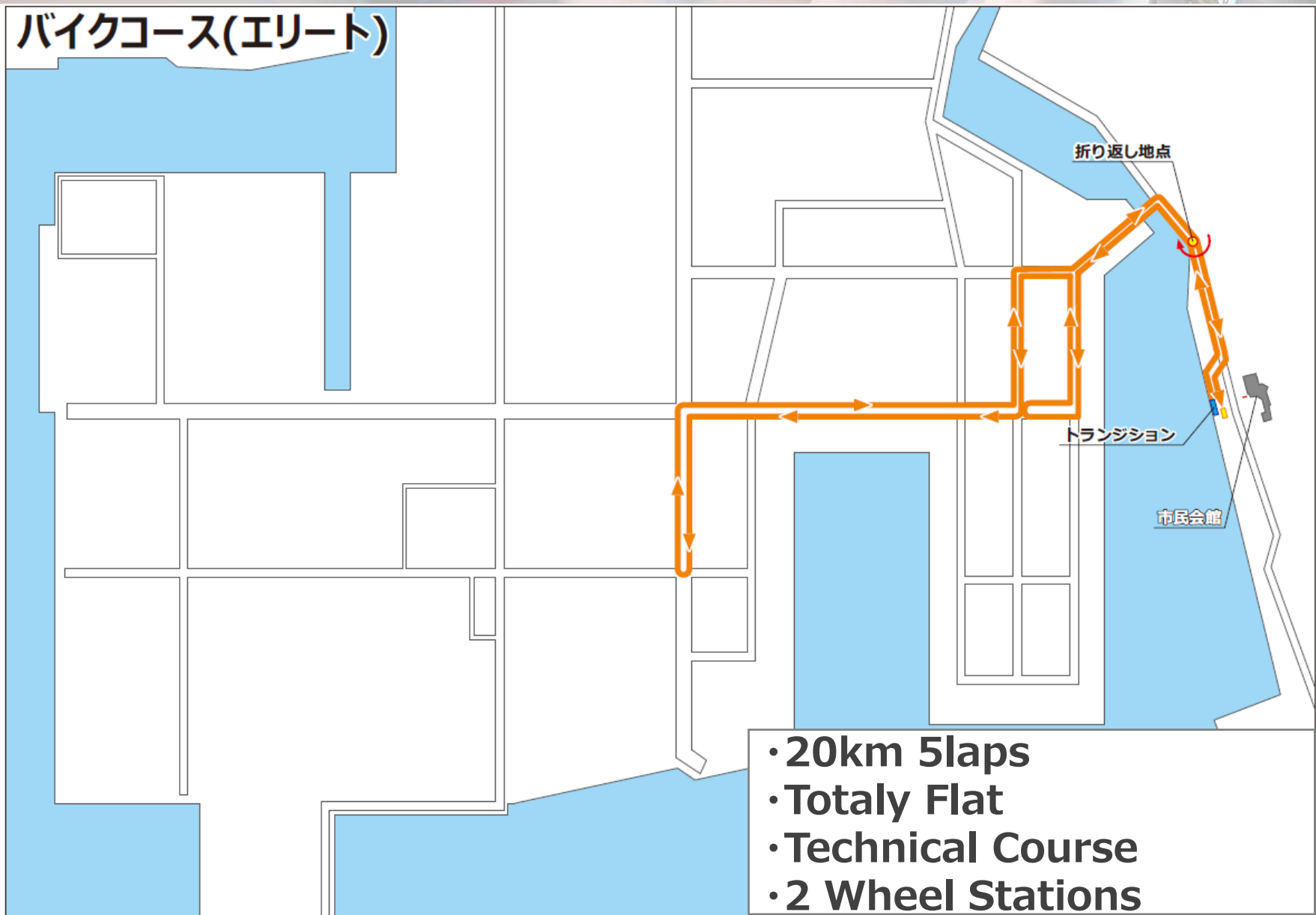
コース案 | スイム

スイムコース(エリート)



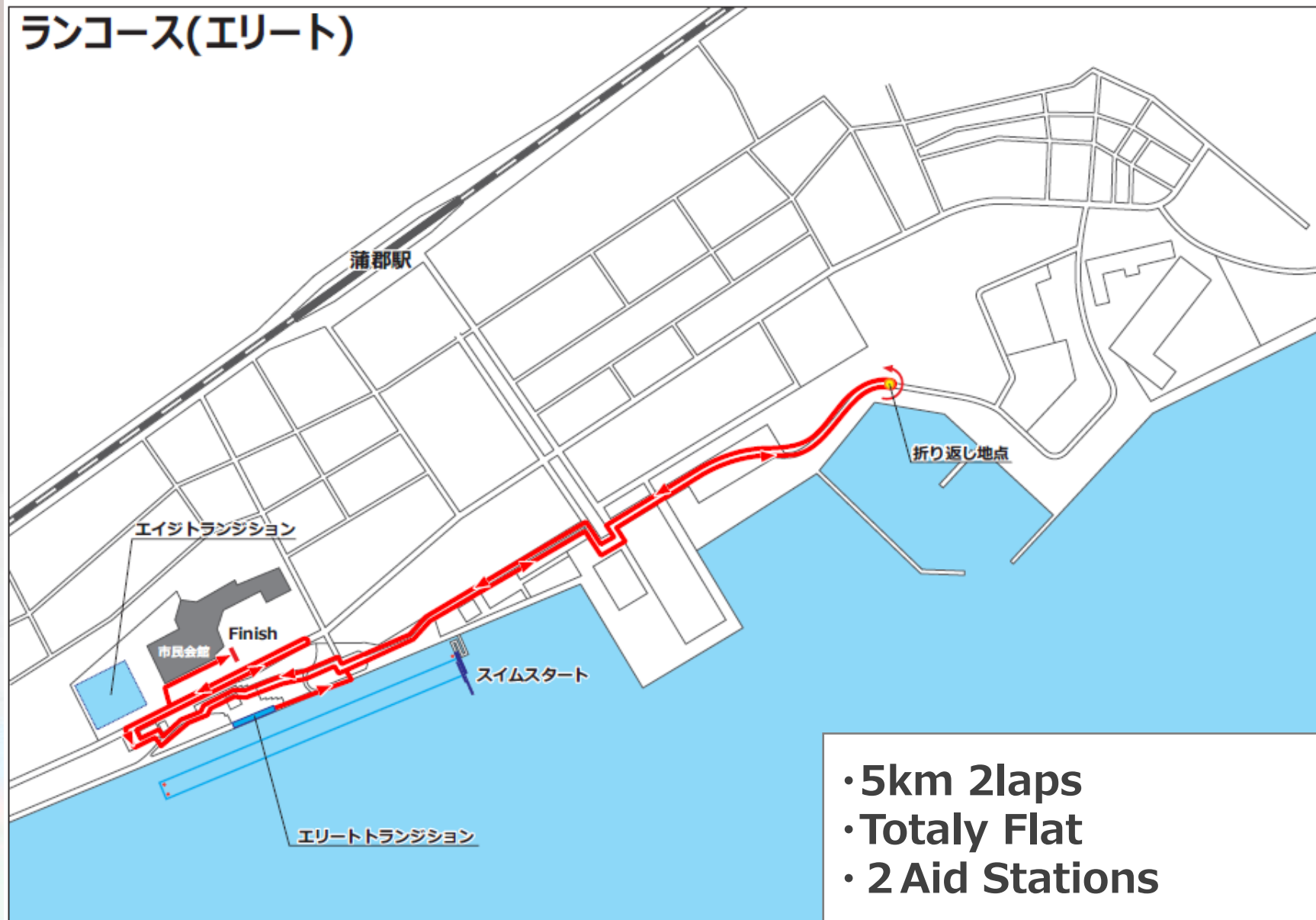
コース案 | バイク

バイクコース(エリート)



コース案 | ラン

ランコース(エリート)



大会関連事業（案）

大会付帯事業としてのさまざまな社会貢献事業も、世界へ情報発信していきたいと考えています。

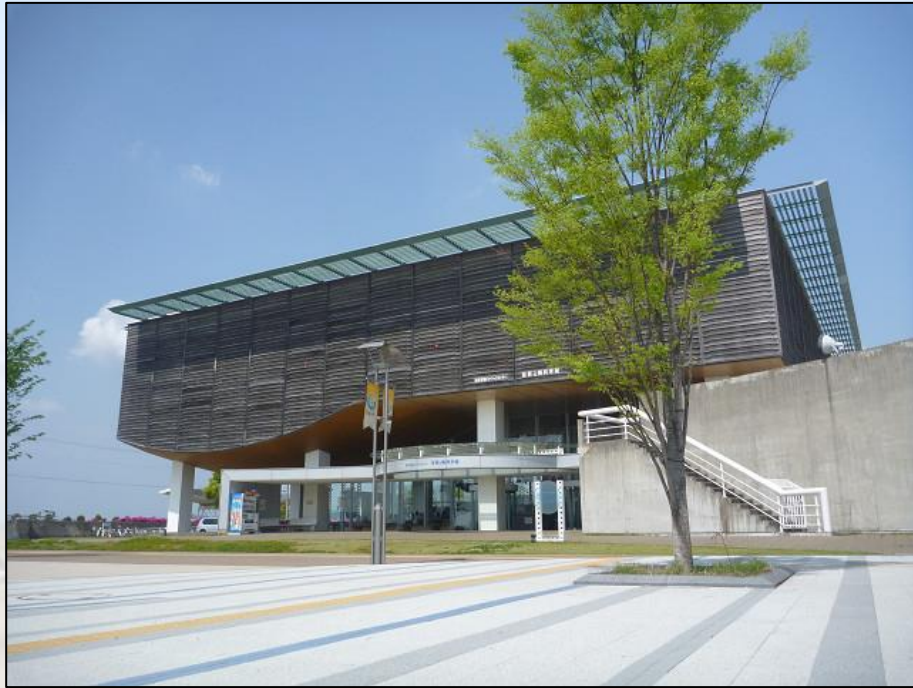
時期	プログラム
2023年5月	オリンピック・パラリンピアンによる 学校訪問・トライアスロン教室
	ビーチクリーン・パーククリーン （グリーントライアスロン）
	健康ゆるゆるトライアスロン
	小中学校対象、1校1か国応援 （探求学習のテーマ）
6月22日(木)	各国エリート選手/スタッフによる 学校訪問、国際交流
6月23日(金)	アジアトライアスロン理事会・総会 @生命の海科学館
6月24日(土)	（エリート競技）
6月25日(日)	キッズトライアスロン大会

世界へ情報発信（Zコ西日本連携・バーチャル中継など）



アジアトライアスロン理事会・総会会場（案）

- 蒲郡市 生命の海科学館



予算（案）

総事業費として約1.5億円を見込んでおります。
その一部を、蒲郡市さまにご負担いただくご相談をさせていただきますでしょうか。

収入の部	予算	備考
1 協賛金	101,200,000	企業協賛金 等（日本モーターボート競走会のご支援を要相談）
2 助成金	4,800,000	スポーツ振興基金 または スポーツ振興くじ
3 参加費	24,000,000	選手参加料@24,000円×1000名想定
4 負担金	20,000,000	ご相談（蒲郡市・JTU）
収入合計	150,000,000	

支出の部	予算	備考
1 事業費	140,000,000	
(1)大会運営費	88,500,000	競技運営、式典、ボランティア運営、安全対策、会場設営、総会費用
(2)宿泊輸送事業費	30,000,000	エリート選手団輸送
(3)広報費	18,500,000	大会告知、交通規制告知、インターネットライブ中継
(4)その他事業費	3,000,000	アジアトライアスロン公認料、賞金
2 事務局運営費	10,000,000	事務局人件費（2022年～2023年）
支出合計	150,000,000	

今後のスケジュール（案）

日程	予定
2022年8月20日	JTUからアジアトライアスロンに2023U23・ジュニア選手権開催を打診、アジアトライアスロン理事会の快諾を得る
2022年8月26日	JTU及びATAからの蒲郡市への打診（蒲郡市のご判断をお待ちする）
2022年9月～11月	各スポンサー・各団体へ打診スタート（予定）
2022年12月	組織委員会創立・プレスリリース発信・警察及び合意形成スタート
2023年1月	スポーツ振興くじへ助成金申請（予定）・エイジグループ募集開始・アジア各国へ招待状送付
2023年2月	各種付帯事業発表/随時スタート
2023年3月	コース確定
2023年4月	運営計画確定
2023年5月	1か月前イベント・パーククリーン・学校訪問・アスリートガイド発行
2023年6月23日	記者発表会・選手受付・競技説明会・アジアトライアスロン理事会・総会
2023年6月24日	エリート（U23男女・ジュニア）競技
2023年6月25日	エリート（U23・ジュニア男女混合リレー）競技・エイジ競技